

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	保育園運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	白川村
交付金事業の成果目標	要保育児の入所率100%(令和2年度)
交付金事業の成果指標	要保育児の入所率(%)=入所者÷入所対象人口×100
評価年度	令和3年度
成果実績	100%
達成度(%)	100%
目標値	100%
評価年度の設定期理由	年度ごとに事業を行っており、年度により要保育児の入所者数を確認できるため
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金の活用により、白川村内2保育園の保育士5名の人件費(給料4月～1月分(10か月分)及び12月期末・勤勉手当)を確保することができました。保育士が確保できたことにより、待機児童0を維持できました。また未満児に関しても一時保育ながら、保護者の要望に応えられるよう対応できました。</p> <p>次年度の改善点としては、より保護者のニーズにあった保育園づくりの推進・村民に触れ合う機会を保育に取り入れ、よりよい運営を心がけてまいります。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	白川村
交付金事業の成果目標	確実な診療サービスを提供するため、午後以降の受診率の割合を高める。目標値30%(令和2年度)
交付金事業の成果指標	受診率(%)
評価年度	令和3年度
成果実績	86%
達成度(%)	286%
目標値	30%
評価年度の設定期理由	年度ごとに事業を行っており、年度により受診率等を確認できるため
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本交付金の活用により、白川村内2診療所に勤務する医師1名と看護師2名の人件費(給料4月～1月分(10か月分)及び12月期末・勤勉手当)を確保することができました。 コロナウイルス感染症対策としての事前予約や分散来診を促進に加え、看護師の安定的な確保によって、以前まで午前中に偏っていた受診が午後に大きく分散する結果となりました。 次年度以降も引き続き幅広い時間帯で患者の対応ができるよう努めていきます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	保健推進事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	白川村
交付金事業の成果目標	特定健康診査の受診率60%以上(令和2年度)
交付金事業の成果指標	受診率(%)
評価年度	令和3年度
成果実績	受診率63.3% 終了率70.6%
達成度(%)	受診率106% 終了率117.7%
目標値	60%
評価年度の設定期限	年度ごとに事業を行っており、年度により受診率等を確認できるため
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本事業により、管理栄養士1名の人件費(給料4月～1月分(10か月分)及び12月期末・勤勉手当)を確保する事ができました。これにより、管理栄養士による特定健康診査等の各種健(検)診をはじめとする保健事業の充実を図ることができました。また個別訪問による保健・栄養指導を実施することができました。</p> <p>次年度の改善としては、健診受診の周知・推奨を強化することにより、村内の健康意識の向上につなげていきます。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	本巣市国民健康保険診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	本巣市
交付金事業の成果目標	往診・訪問診療件数 180件(令和2年度)
交付金事業の成果指標	往診・訪問診療件数
評価年度	令和3年度
成果実績	103件
達成度(%)	57%
目標値	180件
評価年度の設定期由	第2次総合計画 前期基本計画の評価年度
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金の活用により、2つの診療所に3名の医師を確保し、運営することができました。本市の高齢化率の状況として、市全体が27.2%に対して北部(根尾・本巣のトンネル以北)のみでは47.3%と非常に高い水準となっています。これは、特に交通手段が限られている高齢者にとって近くにある診療所が無くてはならない存在であることを示しています。今後も高齢化率の上昇が見込まれる中、医師の体制については、現在の水準を維持できるよう努め、往診・訪問診療件数の増加を図り、在宅医療の充実を図っていきます。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	本巢市国民健康保険診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	本巢市
交付金事業の成果目標	往診・訪問診療件数 180件(令和2年度)
交付金事業の成果指標	往診・訪問診療件数
評価年度	令和3年度
成果実績	79件
達成度(%)	44%
目標値	180件
評価年度の設定期由	第2次総合計画 前期基本計画の評価年度
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本交付金の活用により、2つの診療所に3名の医師を確保し、運営することができました。本市の高齢化率の状況として、市全体で28.4%に対して市北部(根尾・本巢のトンネル以北)のみの高齢化率は48.0%と非常に高い水準となっています。これは、特に交通手段が限られている高齢者にとって、近くにある診療所がなくてはならない存在であることを示しています。今後も高齢化率の上昇が見込まれる中、医師の体制については現在の水準を維持しながら、検診や診療時に在宅医療のニーズを聞き取るなどして往診・訪問診療件数の増加を図り、在宅医療の充実を図っていきます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	本巣市国民健康保険診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	本巣市
交付金事業の成果目標	往診・訪問診療件数 180件(令和2年度)
交付金事業の成果指標	往診・訪問診療件数
評価年度	令和3年度
成果実績	107件
達成度(%)	59%
目標値	180件
評価年度の設定期由	第2次総合計画 前期基本計画の評価年度
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金の活用により、当該2診療所の医師3名の人件費6カ月分を確保することができました。医師が患者の自宅等に赴いて行う「訪問診療」について、患者の希望に応えることができるよう相談に乗りながら曜日設定するなど計画を立てながら定期的実施し、また、突発的な「往診」にも対応できるよう努めています。今後は、市の第2次総合計画前期基本計画の評価年度目標の達成に向け、検診や診療時に在宅医療のニーズを聞き取るなどして往診・訪問診療件数の増加を図り、在宅医療の充実を図っていきます。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	本巢市国民健康保険診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	本巢市
交付金事業の成果目標	往診・訪問診療件数 180件(令和2年度)
交付金事業の成果指標	往診・訪問診療件数
評価年度	令和3年度
成果実績	72件
達成度(%)	40%
目標値	180件
評価年度の設定期由	第2次総合計画 前期基本計画の評価年度
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金の活用により、当該2診療所の医師3名の人件費6カ月分を確保することができました。今年度は対象患者の死亡等により診療件数が減少していますが、医師が患者の自宅等に赴いて行う「訪問診療」について、患者の希望に応えることができるよう相談に乗りながら曜日設定するなど計画を立てながら定期的を実施し、また、突発的な「往診」にも対応できるよう努めています。今後は、検診や診療時・地域のふれあいサロン等で在宅医療のニーズを聞き取るなどして往診・訪問診療件数の増加を図り、在宅医療の充実を図っていきます。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	本巣市国民健康保険診療所運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	本巣市
交付金事業の成果目標	往診・訪問診療件数 180件(令和2年度)
交付金事業の成果指標	往診・訪問診療件数
評価年度	令和3年度
成果実績	189件
達成度(%)	105%
目標値	180件
評価年度の設定期由	第2次総合計画 前期基本計画の評価年度
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金により、2診療所の医師3名の人件費6カ月分(7月～12月)を確保できました。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態の中で、密が回避でき、不特定の者との接触の可能性が低い「訪問診療」に対して、ニーズが高まりました。診療に当たっては、患者の希望や相談に応じながら診療日を設定し、感染防止対策を徹底しながら定期的な診療が確保できる訪問計画を立てました。今後も、感染症対策を徹底し、検診や診療時・地域のふれあいサロン等での在宅医療のニーズの聞き取り以外の方法でニーズが汲み取れる方法を模索しながら、往診・訪問診療件数の増加を図り、在宅医療の充実を図っていきます。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下呂市消防署運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	下呂市
交付金事業の成果目標	救命講習受講者数 下呂市人口の10%
交付金事業の成果指標	救命講習受講者数率=受講者数÷下呂市人口×100
評価年度	令和3年度
成果実績	0%
達成度(%)	0%
目標値	10%
評価年度の設定期理由	毎年度の事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金の活用により、下呂市消防本部中消防署、北消防署、南消防署の消防職員37名の6か月分の人件費を確保することができました。</p> <p>当市では、下呂市定員適正化計画(平成28年度から令和2年度)に基づき、組織の年齢構成に配慮し職員を採用しています。下呂市消防本部においても安定した消防力の維持を目的とし、若手から熟練までバランスのとれた職員を配置することで、年齢構成の平準化に努めました。</p> <p>また、熟練消防職員が若手消防職員に対し、消防機械器具の適切な取扱や迅速な救命処置の訓練等を行い、下呂市消防本部管内の地域住民の生活の安全を確保することができました。</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため市民に対して、救命講習を開催することができませんでした。</p> <p>今後は、コロナ禍での指導方針及び感染防止対策等の感染予防基準を示した要綱を作成し、その要綱に沿って救命講習を開催するなど、感染防止対策を徹底しながら市民が安心して受講できるよう努めていきます。</p> <p>今後も、地域住民の生活の安全を確保するため、下呂市内消防署への消防職員の適正な配置を行っていきます。中長期的には、下呂市定員適正化計画(令和3年度～令和7年度)に合わせて取組を継続することとし、計画の見直しに合せて改めて評価を実施します。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
福祉対策措置	医療用機械整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	白川村
交付金事業の成果目標	アンケートにより医療機関に満足していると答えた人の割合
交付金事業の成果指標	満足度(%)
評価年度	令和3年度
成果実績	80%(満足80人、やや満足14人、どちらでもない6人、やや不満0人、不満0人)
達成度(%)	160%
目標値	50%
評価年度の設定理由	年度内の事業完了後に行うアンケートの結果によって、昨年度までとの医療機関の充実度の違いが令和3年度に判明するため。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	<p>本交付金の活用により、医療機器3点(全自動分割分包機、内視鏡システム、超音波診断発受信機)を購入することができました。</p> <p>超音波診断用プローブ、内視鏡システムの購入により、従前、近隣都市まで赴かなければ受診できなかった検査等について、村内診療所で素早く対応できるようになりました。また、全自動分割分包機の整備により、診療所の待ち時間が短縮され、診療所内の混雑緩和や職員の業務負担の軽減につながりました。加えて、事業完了後の村民アンケート結果からも不満という意見はなく、村民の満足度の向上につながることができたと考えられます。</p> <p>次年度も引き続き診療所の医療体制の充実と施設・設備の拡充を図り、医療サービスの向上に努めます。</p>
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。